ノイロメトリーと臨床検査諸検索

(第 49 法)

—— 健康マットのノイロメトリー ——

東京都 成宮 芳三郎

NEUROMETRY & ITS REFERENCES

ON

CLINICAL TEST

(The 49th Report)

—— Neurometry of Health Mat ——

Dr. Y. Narimiya,

(Narimiya Clinic, Tokyo.)

SUMMARY

The investigation was made on the possibility of stabilization on Autonomic Nerve Unbalance by checking the index from the measured values by Neurometer.

Application to 60 cases resulted in more or less favorable 43 cases (71%), unchanged 6 cases (10%), worse 11 cases (18%).

Effect of "EAP" far better than health mat application, by checking the index from the measured values by Neurometer.

Restoration & stabilization of Autonomic Nerve Unbalance were observed less than EAP.

1 はじめに

昭和25年中谷義雄博士により創始せられたノイロメーター（自律神経測定計）は従来定性的にしか測定されなかった自律神経異常の有無をはじめて定量的に測定できるようにした、まことに画期的なものであった（文献1～6）。自律神経失調の有無が3分間で測定でき、いろいろの治療による自律神経興奮性の推移が極めて容易に把握でき、ノイロメーター計測値を指標として検査すると各種治療の効果追究が容易となる。筆者も電気針、マグネタイザー、酸素吸入、ストレッチなど処置の効果の有無を、ノイロメーター計測値を指標として追究して報告してきた（文献7～58）。

理研民間薬研究所の「健康マット」なるものが、指圧の代用で血行をよくする健康法として、古来愛用されてきた青竹をふむ健康法を現代人にマッチさせたものとして提供された。

() 女

姓名 李 殿

病名 痛風

年令 59 歲

住 所

昭和 27 年 月 日

診察 年 月 日

年令	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-6	H-7	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7	F-8	F-9	F-10	平均
180	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
160	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
140	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
120	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
80	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
60	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
40	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
20	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

胸囲 100

身長 160

測定日時 4月9日 13時

重さ 26 公斤

体温 36.5

5 0 1

5 16 3

第1表

番 号	年 令	性 別	病 名	前 後	ノイロメトリー			良導絡安定率		
					最 高 値	最 低 値	平 均 値	+	○	-
1	♀ 40		胃カタル	前後	80 70	15 30	42.7 45	5 2	17 20	2) 2)
2	♀ 40		貧血	前後	100 90	30 40	66.5 63.3	8 10	11 14	5) 0)
3	♂ 55		腎性糖尿	前後	75 70	25 40	52.1 53.5	6 2	18 22	0) 0)
4	♂ 25		肝機能低下症	前後	150 80	40 40	82.1 67.3	8 5	11 16	3) 5)
5	♂ 36		健診	前後	70 60	20 25	41.5 46.5	3 2	16 21	5) 1)
6	♂ 20		"	前後	70 80	40 30	55.6 45.2	7 8	16 16	1) 0)
7	♂ 20		低血圧症	前後	60 70	30 40	39 50.8	4 4	19 20	1) 0)
8	♂ 39		健診	前後	100 120	35 40	69.0 70.4	3 4	14 14	7) 6)
9	♂ 27		"	前後	50 40	10 10	21.5 19.2	4 3	15 21	5) 0)
10	♂ 26		"	前後	100 100	60 50	92.8 80.4	7 7	10 11	7) 6)
11	♀ 28		アレルギー体質	前後	90 90	20 25	44 44.4	5 5	12 18	7) 1)
12	♀ 49		高血圧症	前後	110 70	30 10	70.2 34.2	6 11	10 10	8) 3)
13	♀ 40		健診	前後	40 40	10 10	28.3 23.5	2 4	20 20	2) 0)
14	♂ 59		低血圧症	前後	80 110	10 30	40.6 65.8	7 5	8 16	9) 3)
15	♂ 28		健診	前後	110 90	20 30	70 55.4	5 3	16 21	3) 0)
対照（電気針処置群）										
1	♀ 37		低血圧症	前後	50 50	0 10	12.0 28.0	7 2	10 20	7) 2)
2	♂ 24		自律神経失調	前後	70 40	10 30	36.4 40.0	5 0	10 24	9) 0)
対 照（処置セズ）										
1	♀ 23		自律神経失調	前後	120 110	10 15	35.6 42.3	6 6	12 10	6) 8)

比べてその安定化は顕著ではなかった。

天然ゴムでできているので、竹より刺激が弱い異常者は刺激が強く感応するのでタオルなどをあてて使用する人さえあるというが、実際には固い方が効果的であろう。ドイツより極めて硬くしたものが輸入されてもいる。自宅で簡単に実施できる長所はあるが、電気針良導絡療法の補助療法というより運動不足の対応策の一つとしての意味の方が大きいであろう。

5 ま と め

古来からあった青竹をふむ健康法を現代人にマッチさせたと称する天然ゴム製の「健康マット」を、マットの高い部分に足裏の土ふまずがあたるようにして5分間ふませた健診20、外来患者40例のノイロメーター計測値の推移を指標として自律神経安定化の有無を検査した。要之

第2表

総 括 数			前 後	良導絡安定率		
				+	○	-
好	転	43	前後	187 121	665 740	180 99
不	変	6	前後	46 66	64 49	34 29
悪	化	11	前後	48 68	158 120	68 76
計		60	前後	281 255	887 909	282 204

第3表

年 月 日	日 数		ノイロメトリー			良導絡安定率		
			前 後	最 高 値	最 低 値	平 均 値	+	○ -
1972 9-15	I	前後	80 110	10 30	40.6 65.8	7 5	8 16	9) 3)
9-16	II	前後	100 100	20 20	54.2 45.4	6 3	11 15	7) 6)
9-17	III	前後	110 110	20 50	69.2 77.5	5 2	11 18	8) 4)
9-19	V	前後	100 100	20 30	52.5 58.7	7 4	9 14	8) 6)
9-21	VII	前後	90 100	10 20	28.9 42.7	7 3	7 16	10) 5)

稍好転43例(71%)、不変6例(10%)、悪化11例(18%)で若干の自律神経安定化の傾向を認め得たが、その効果は良導絡電気針治療効果にははるかにおよびなかった。

(1972. 2 .11)

文 献

- (1) 中谷義雄「皮膚刺戟療法」 1956年
- (2) // 「良導絡臨床の実際」 1960年
- (3) // 「反応良導点治療」 1963年
- (4) // 「良導絡自律神経調整療法」 1971年
- (5)(6) 笹川久吾「日本良導絡自律神経雑誌」第13巻第146号、第150号(1968年)
- (7)～(33) 成宮芳三郎「良導絡」第19～141号(1961～1967年)
- (34)～(58) 成宮芳三郎 日本良導絡自律神経雑誌

第13巻 第8～9号、第14巻6号

第15巻 2・3号、第16巻3・9・11・12号

第17巻 4・5・6・8号

第18巻 第1号(1968～1973年)

現代人の足をきたえ、スマートにする!! 第3回

健康マット

青竹を踏む健康法(指圧の代用で血行を良くする健康法)を現代人にマッチさせたのが健康マットです。

男性はひげそりのとき、女性は台所仕事のごき、そして風呂あがりなどに、毎日欠かさず3～5分間踏んでください。

数分間健康マットを踏むと、数kmの散歩に匹敵するほど運動不足を補い、筋肉の疲れをとり理想的な脚線美をつくります。

健康な方はもちろん、●室内仕事で運動不足の方●車によく乗られる方●運動される方●脚を使う仕事の多い方●立ち仕事の多い方●足をスマートにしたい方●ゴルフ後の足の疲れにぜひお試しください。

健康マットは天然ゴムで出来ており、ちょうど土踏まずにあたるような形になっています。これを踏むことによって血液循環の悪いところを刺激して血行を良くします。

使用方法——

- マットの裏の部分に土踏まずがあたるように立って、3～5分間踏んでください。
- 刺激が強すぎる場合は、タオルなどをあててご使用ください。